



# 太陽光発電設備の適正な導入に向けた 静岡県の取組

平成30年10月30日（火）

静岡県

# 【本日の説明内容】

- 1 静岡県の概況
- 2 県内の再生可能エネルギーの状況
- 3 再生可能エネルギーの導入促進への取組
- 4 大規模太陽光発電の**適正導入**に向けた取組

# 1 静岡県概況①—静岡県の経済基盤—

1人当たり県民所得は全国3位 製造品出荷額は全国3位



人口

368万人 **全国10位**  
(H29.10.1現在)



県内  
総生産

15兆4,559億円 **全国10位**  
※速報値 (平成28年度) (平成26年度)



1人当たり  
県民所得

328万円 **全国3位**  
※速報値 (平成28年度) (平成26年度)

1位 東京都 2位 愛知県



製造品  
出荷額等

16兆1,322億円 **全国3位**  
(平成28年)

1位 愛知県 2位 神奈川県

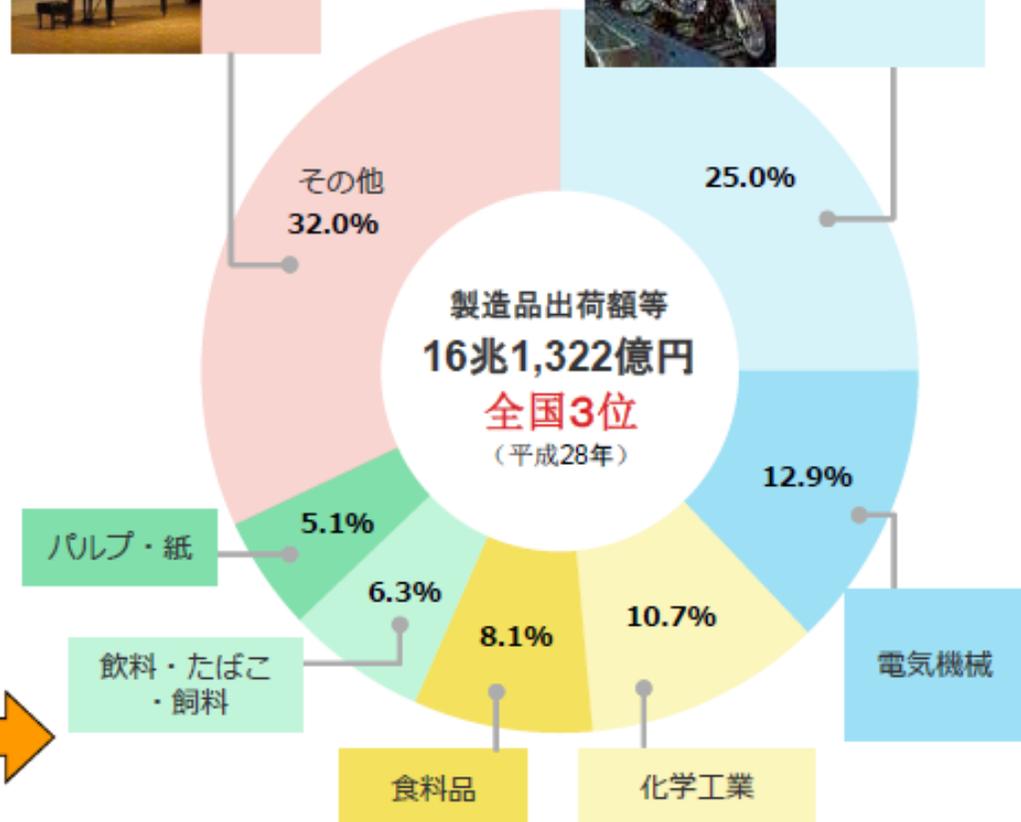
## ◆バランスのとれた産業構造



ピアノ



輸送機械



# 1 静岡県の概況②ー世界クラスの資源・人材群ー

平成30年9月13日現在 77件



## 豊かで魅力ある 自然・文化



静岡市清水区古原地区から見た富士山

### 富士山 世界文化遺産 (H25.6)



韮山反射炉  
世界文化遺産  
(H27.7)



南アルプス  
ユネスコエコパーク  
(H26.6)



伊豆半島  
ユネスコ世界ジオパーク  
(H30.4)



静岡水わさび  
の伝統栽培  
世界農業遺産(H30.3)



茶草場農法  
世界農業遺産  
(H25.5)



駿河湾  
世界で最も美しい湾クラブ  
(H28.11)



## 世界的に活躍する

## 人

<p><b>天野 浩</b> ノーベル物理学賞</p> <p><b>石川 准</b> 国際連合障害者権利委員会委員</p> <p><b>本庶 佑</b> 唐奨 (ハチ医薬部門)、京都賞</p> <p><b>太田 朋子</b> クラフォード賞</p> <p><b>磯貝 明</b> マルクス・ヴァーレンバール賞、本田賞</p> <p><b>寺西 信一</b> エリザベス女王工学賞</p> <p><b>長谷川 逸子</b> 王位芸術院建築賞</p> <p><b>浜松ホトニクス(株)</b> 米国電気電子学会(IEEE) マイルストーン</p> <p><b>ヤマハ</b> エレクトリックバイオリン iFデザインアワード2017 iFゴールドアワード(最高賞) エレキギター レッド・ドット・デザイン賞 Best of the best(最高賞) 多機能鍵盤楽器 iFデザインアワード2018 iFゴールドアワード(最高賞)</p>	<p><b>水谷 隼</b> 男子卓球で初の五輪メダリスト (男子団体 銀メダル・男子シングルス銅メダル)</p> <p><b>伊藤 美誠</b> 五輪最年少メダリスト(女子団体銅メダル) 卓球ワールドツアー女子シングルス最年少優勝</p> <p><b>平野 美宇</b> 卓球女子ワールドツアーシングルス最優秀 世界卓球選手権(女子団体銀メダル)</p> <p><b>飯塚 翔太</b> トラック競技男子初の銀メダリスト (リオデジャネイロ五輪400mリレー 銀メダル)</p> <p><b>河合 純一</b> パラリンピック競泳金メダリスト パラリンピック殿堂入り</p> <p><b>杉村 英孝</b> リオデジャネイロ・パラリンピック ポッチャ混合団体銀メダリスト</p> <p><b>山本 篤、佐藤 圭太</b> リオデジャネイロ・パラリンピック 陸上男子400mリレー(切断などT42-47) 銅メダリスト</p> <p><b>佐藤 友祈</b> リオデジャネイロ・パラリンピック 陸上男子400m、1,500m(車いすT52)銀メダリスト</p> <p><b>若山 英史</b> リオデジャネイロ・パラリンピック パラエアソグビー 銅メダリスト</p> <p><b>岡村 正弘</b> リオデジャネイロ・パラリンピック マラソン(T12) 銅メダリスト</p>
---	---



# 2 県内の再生可能エネルギーの状況



## 太陽光発電

FIT導入量  
全国第7位！



- 【静岡県の特徴】
- 全国トップレベルの日照環境
  - 西部地域の導入が比較的進む



## 風力発電

FIT導入量  
全国第8位！



- 【静岡県の特徴】
- 風況に恵まれた地域
  - 伊豆半島や西部地域沿岸部で導入が進む



## 中小水力発電

FIT導入量  
全国第3位！



- 【静岡県の特徴】
- 水資源が豊富な地域
  - 農業用ダム・河川など可能性高い



## バイオマス発電

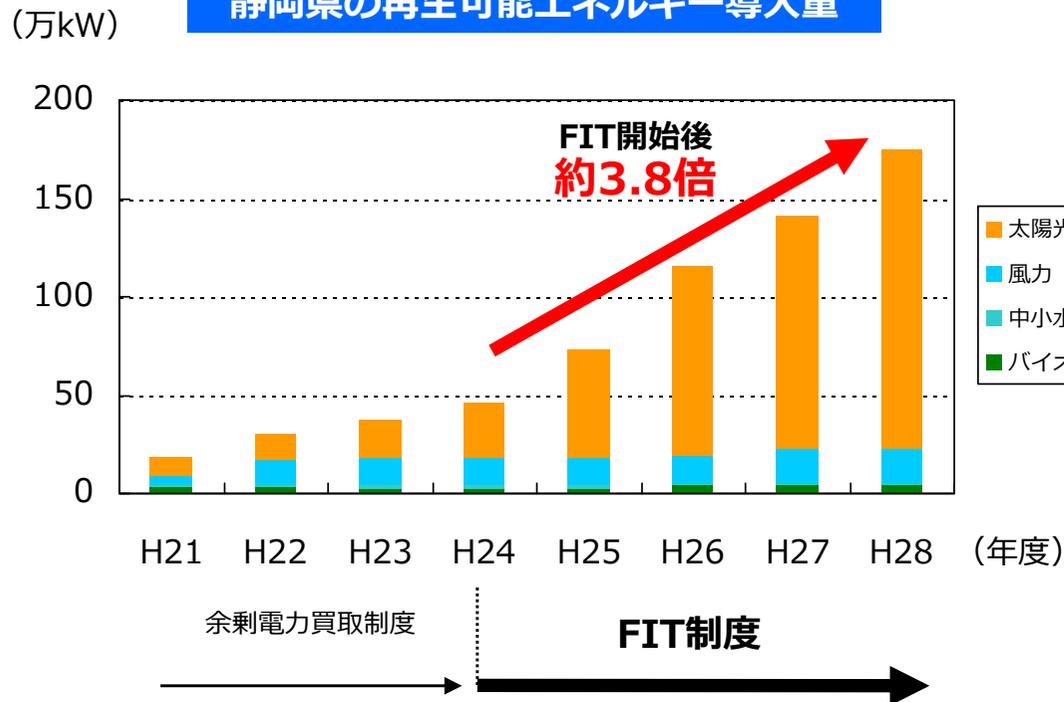
FIT導入量  
全国第2位！



- 【静岡県の特徴】
- 豊富な森林資源、農業・畜産業、食品加工業の集積背景に資源が存在

(H29.3月現在)

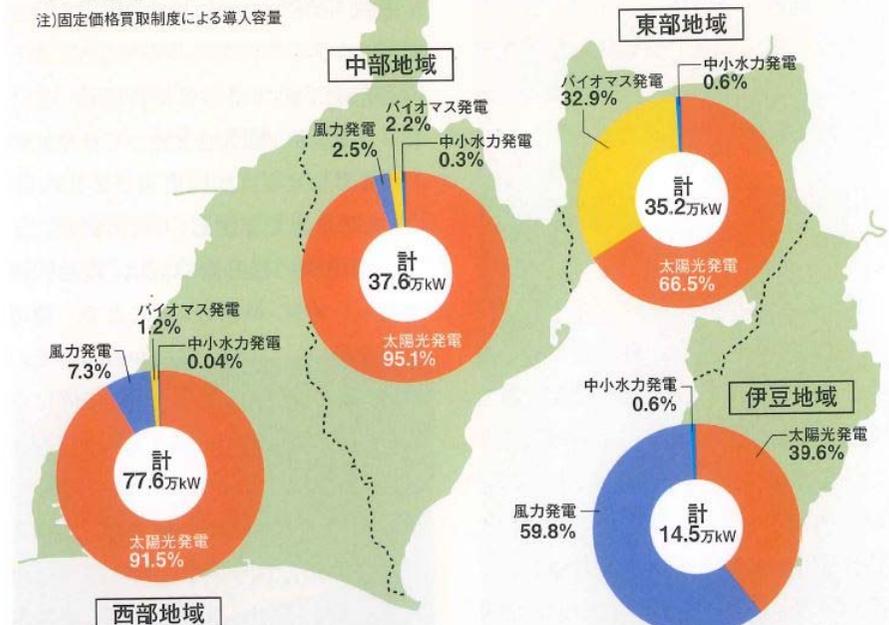
### 静岡県の再生可能エネルギー導入量



### 地域別 再生可能エネルギー導入量内訳

#### 地域別新エネルギー導入量の内訳

注) 固定価格買取制度による導入容量



# 3 再生可能エネルギーの導入促進への取組①

## ふじのくにエネルギー総合戦略の策定（平成29年3月）

計画期間：平成29年度から平成32年度まで

### 目指す姿

- ◎エネルギーの地産地消による新しいライフスタイルの創出
- ◎エネルギー産業の振興による暮らしや企業活動を支える基盤の強化

戦略1 <創エネ>地域資源の活用による多様な分散型エネルギーの導入拡大

戦略2 <省エネ>建築物の省エネ、ライフスタイル・ビジネススタイルの変革

戦略3 <経済活性化>地域企業によるエネルギー関連産業への参入促進

# 3 再生可能エネルギーの導入促進への取組②

## ○新エネルギー等導入目標 (単位：万キロリットル (原油換算) ※設備容量 万kW)

	新エネルギー等 種類別	【当初基準】 H21年度	【現状】 H28年度	【目標】 H32年度	
新 エ ネ ル ギ ー	<b>太陽光発電</b>	<b>2.4 (※9.9)</b>	<b>37.2 (※152.0)</b>	<b>49.0 (※200)</b>	
	太陽熱利用	5.9	7.1	10.0	
	風力発電	2.0 (※4.5)	7.9 (※17.7)	8.6 (※20.0)	
	バイオマス	発電	2.2 (※3.0)	2.9 (※4.0)	6.2 (※6.0)
		熱利用	3.9	5.4	6.0
	中小水力発電	1.1 (※0.9)	1.4 (※1.2)	2.3 (※1.9)	
	計	17.8	61.9	82.1	
ガスコージェネレーション	39.4 (※45.0)	43.3 (※49.0)	74.6 (※85.0)		
新エネルギー等計	57.2	105.1	156.7		



### 3 再生可能エネルギーの導入促進への取組③

#### 【太陽光：（目標）H32年度末 設備容量200万kW】

本県の日照環境という特性を生かしながら、新エネルギー導入拡大の原動力として、引き続き導入の拡大を図る。

#### ○重点取組

戸建て住宅に加え、集合住宅、事業所、農業施設等で蓄電池との組み合わせ等による**自家消費を中心に利用**する太陽光発電の導入を促進する。

- ・事業者用太陽光発電の導入促進
- ・太陽光発電の有効利用（電力融通など）の促進



## 4 大規模太陽光発電の適正導入に向けた取組①

### 【経緯】

#### ○平成29年4月～6月

県内某市において計画されていた太陽光発電事業に対し、地元住民らが地元市長、県知事に反対署名を提出。

#### ○平成29年6月

地元市長が、事業者に計画を白紙撤回するよう申し入れ。  
⇒10項目の懸念を事業者に示す。

#### ○平成29年7月

事業者、計画の白紙撤回は困難と表明。

#### ○平成29年12月～平成30年1月

地元市が国や県に対して太陽光発電事業に係る法令等整備を要望。



## 4 大規模太陽光発電の適正導入に向けた取組②

### 【10項目の懸念】

- (1)土砂崩壊や流出による川・漁港・海・神社への影響
- (2)漁業、スキューバダイビングなどの観光産業への影響
- (3)観光地としての景観への影響
- (4)「ユネスコ世界ジオパーク」認定への影響
- (5)動植物や土壌の微生物等の生態系への影響
- (6)太陽光パネルによる温度上昇等の影響
- (7)近隣別荘地の水源（地下水）への影響
- (8)森から追われた動物等による農作物や日常生活への影響
- (9)工事完成後の事故及び災害等が発生した場合の責任所在が不明
- (10)売電事業終了後の施設等の維持管理の責任所在が不明

## 4 大規模太陽光発電の適正導入に向けた取組③

### ○メガソーラー導入に係る庁内連絡調整会議

平成24年7月、メガソーラー導入を促進させるため、候補地の情報提供、相談窓口のワンストップ化を目的とし、組織。

⇒平成30年1月、地元市からの要望を受け、メガソーラーによる防災、環境、景観上の懸念等に対応すべく、規制等に関して、情報共有を図りながら、連携し対応している。

#### 【メガソーラー導入に係る庁内連絡調整会議概要】

所掌事務	○メガソーラーに係る法規制等に関すること ○上記に掲げる法規制等に基づく指導・助言に関すること
メンバー	建築安全推進課、自然保護課、廃棄物リサイクル課、生活環境課、観光政策課、エネルギー政策課、農地利用課、森林保全課、河川砂防管理課、砂防課、景観まちづくり課、土地対策課、文化財保護課
開催実績	計6回（平成30年1月以降）



## 4 大規模太陽光発電の適正導入に向けた取組④

### ○太陽光発電施設に関する実態及び課題に係る 市町アンケート調査

太陽光発電設備の適正導入を図るため、環境保全、景観保全、災害防止等の観点から必要な施策について、全市町の意向を調査した。

#### 【アンケート調査概要】

対象施設	土地に自立し設置されている10kW以上の施設（住宅用は除く）
実施時期	平成30年3月
実施方法	メールによる調査
回収率	100%（35市町／35市町）

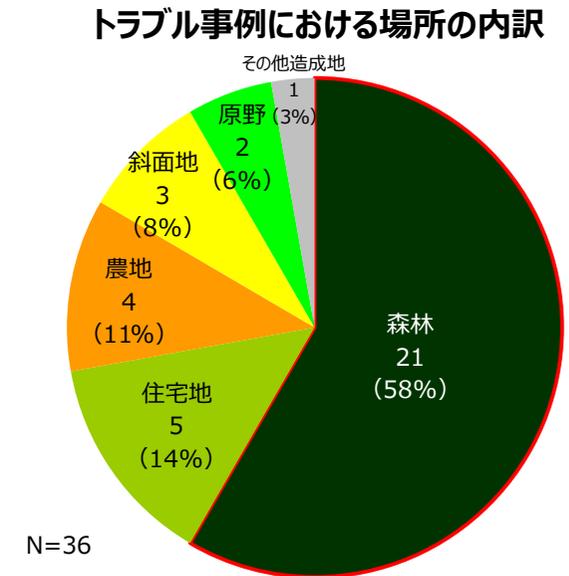
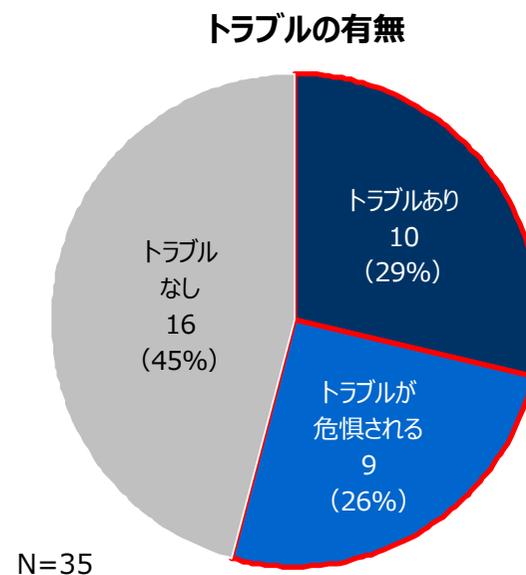
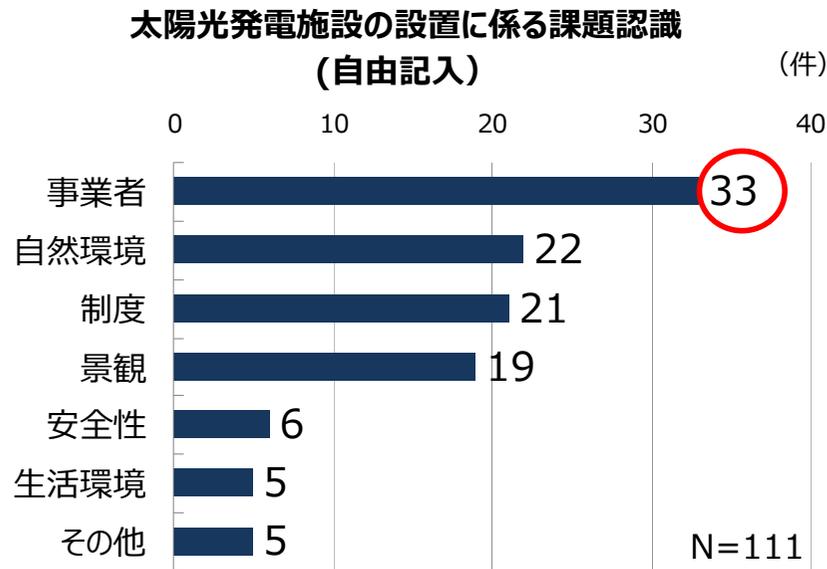


# 4 大規模太陽光発電の適正導入に向けた取組⑤

## 太陽光発電施設に関する実態及び課題に係る市町アンケート調査結果

### (1) 現状分析（課題の認識、トラブル事例の把握）

- 長期にわたる事業の性質上、設置後の管理体制など事業者に関する課題が最も多かった。
- 55%の市町において、トラブルの発生（または危惧される）事例があり、その場所は、森林が最も多く58%を占めている。

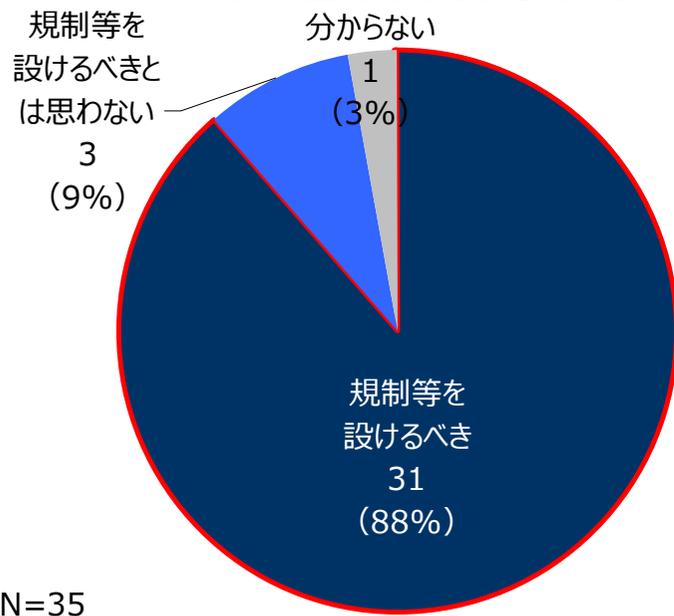


# 4 大規模太陽光発電の適正導入に向けた取組⑥

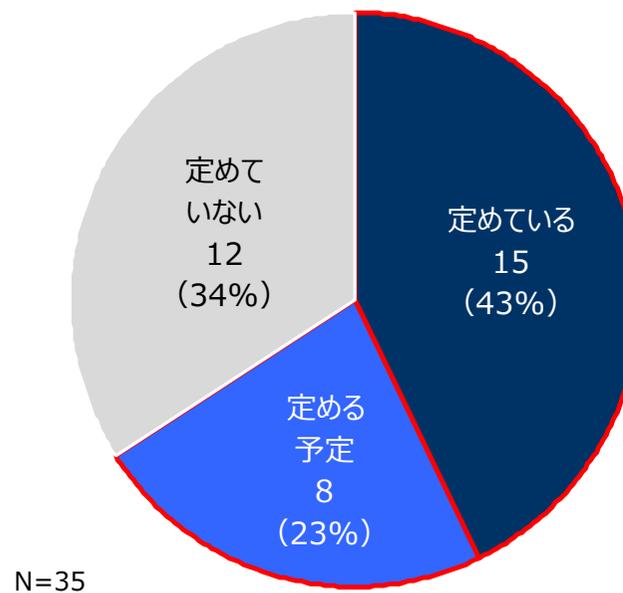
## (2) 規制や基準に関する意向

- 88%の市町が何らかの規制や基準が必要と回答。
- 市町独自の基準（条例や指導要綱など）については、66%の市町が定めている、または今後定める予定。

### 規制や基準に関する意向



### 市町独自の基準の有無



### 基準の内容

条例等の区分	件数
太陽光発電施設等に関する条例・規則	4 (2)
景観計画	5 (0)
太陽光発電施設に関する指導要綱	2 (0)
土地利用事業に関する指導要綱	13 (3)
太陽光発電施設に関するガイドライン	3 (3)
計	27 (8)

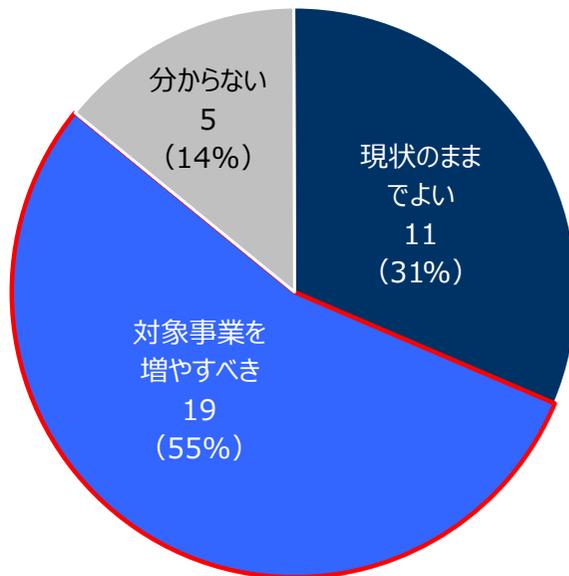
※ ( ) は内数で今後策定予定分

# 4 大規模太陽光発電の適正導入に向けた取組⑦

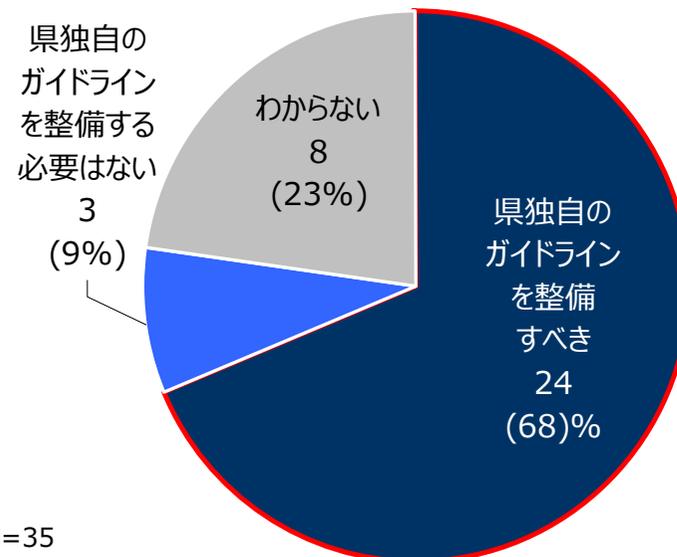
## (3) 県が所管する関連制度に対する意向

- 環境アセスの対象範囲について、55%が面積等の要件を小さくし、対象事業を増やすべき。
- 県独自の太陽光発電施設の適正導入ガイドラインの制定について、68%がガイドラインを整備すべき。
- 一部には市町に委ねてほしいとの意見もあり。

環境アセスメント対象範囲について



県独自の太陽光適正導入ガイドラインの制定について



# 4 大規模太陽光発電の適正導入に向けた取組⑧

市町アンケート調査結果を受けて・・・

## ①環境影響評価制度の適用範囲の見直し

※H30.8.31改正規則公布。施行日はH31.3.1。

	事業の種類	第1種事業の要件 (アセス必須)		第2種事業の要件 (アセスの必要性を個別判断)	
				※特定地域	
現行	工業団地の造成 (太陽光発電施設適用)	施行する土地の区域 (造成する土地の面積) 50ha以上		—	土地の形状 を変更する 区域 5 ha以上
改正	発電所の建設 (太陽光発電所を追加)	太陽光発電 所の用に供 される敷地 50ha以上	森林を伐採 する区域 20ha以上	太陽光発電 所の用に供 される敷地 20ha以上 50ha未満	太陽光発電 所の用に供 される敷地 5 ha以上

※鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第29条の特別保護地区、自然公園法第20条の特別地域又は第22条の海域、公園地区、自然環境保全法第25条の特別地区又は第27条の海域特別地区、静岡県立自然公園条例第19条の特別地域、静岡県自然環境保全条例第13条の特別地区内の面積5 ha以上



## 4 大規模太陽光発電の適正導入に向けた取組⑨

市町アンケート調査結果を受けて・・・

### ② 県独自のガイドライン策定の検討

- 県独自の太陽光発電施設の適正導入ガイドラインの制定について、68%がガイドラインを整備すべき。
- 市町独自の基準（条例や指導要綱など）については、66%の市町が定めている、または今後定める予定。
- 一部には市町に委ねてほしいとの意見もあり。

**地域の特性を踏まえ、かつ独自基準と合わせ、各市町がガイドラインを策定することがより効果的**

**【県と市町によるモデルガイドラインの検討】**

**⇒市町によるガイドラインの策定を目指す**

## 4 大規模太陽光発電の適正導入に向けた取組⑩

### 【太陽光発電設備の適正導入に向けたガイドライン検討会】

#### ○参加者構成（メンバー）

- ・県関係課（メガソーラー導入に係る庁内連絡調整会議関係課ほか）
- ・県内市町（環境・エネルギー・都市計画・建設等担当課）

#### ○開催内容（全4回開催予定）

回数	検討内容等
第1回 7/30(金)	<ul style="list-style-type: none"><li>○検討会の趣旨説明</li><li>○太陽光発電事業者からの説明（（一社）太陽光発電協会）</li><li>○意見交換（太陽光発電事業に対する県の政策等について）</li></ul>
第2回 9/20(木)	<ul style="list-style-type: none"><li>○国の事業計画策定ガイドラインの説明（資源エネルギー庁）</li><li>○モデルガイドライン記載項目に対する意見交換</li></ul>
第3回 10/20(金)	<ul style="list-style-type: none"><li>○ガイドライン策定自治体からの事例紹介（長野県佐久市）</li><li>○モデルガイドライン素案に関する意見交換</li></ul>
第4回 11月下旬	<ul style="list-style-type: none"><li>○モデルガイドラインの作成・公表</li></ul>



## 4 大規模太陽光発電の適正導入に向けた取組⑪

### 【市町のガイドラインに期待する効果】

- ①地域における立地特性を公表、周知することで、  
適切な場所への立地を促す
- ②届出様式等により、事前に情報を入手することで、  
関係機関や地域との迅速な情報共有を実施
- ③事業者との事前協議や調整により、地域住民との  
トラブルを未然に防ぎ、適正な事業への指導を実施
- ④設置後の撤去も含めた適正な管理



富国有徳の  
美しい“ふじのくに”の  
人づくり・富づくり

**ご清聴ありがとうございました。**